

2022 事業年度 事業報告

本財団は、機械の生産において工作機械を中心とした高度生産システムに係わる研究開発、利用等に関する援助及び助成を行うとともに、国際的技術交流を通じて、機械の生産技術の高度化を図り、わが国及び世界の機械産業の発展に寄与することを目的として事業を行っています。

1. 年間活動報告 (2022年4月1日～2023年3月31日)

2022 事業年度の各事業は、2022 年 3 月開催の理事会、評議員会において承認された事業計画に基づきほぼ計画通り実施しました。

2022 年

- 4 月 26 日 ・2021 事業年度分 会計監査終了
- 5 月 19 日 ・2021 事業年度「マザック高度生産システム研究助成者発表並びにマザック高度生産システム優秀論文賞表彰式」をヤマザキマザックマニファクチャリング(株)美濃加茂製作所にて開催。
その後、美濃加茂製作所第一工場、ヤマザキマザック工作機械博物館をご案内
- 25 日 ・2021 事業年度 研究助成金払込み完了
- 25 日 ・第 35 回理事会 (書面) 開催
- 30 日 ・2020 事業年度 研究成果報告書冊子配布
- 6 月 10 日 ・第 22 回定時評議員会, 第 36 回通常理事会を六本木ヒルズクラブにて合同開催
- 13 日 ・内閣府へ定期提出書類 (事業報告) 提出
- 17 日 ・名古屋法務局へ評議員変更登記
- 27 日 ・内閣府へ変更届
- 9 月 1 日 ・2022 事業年度 研究助成, 論文表彰募集開始
- 10 月 21 日 ・第 37 回通常理事会を書面にて開催
- 11 月 30 日 ・研究助成申請 35 件
論文表彰申請 27 件
国際会議助成申請 7 件 で締め切る

2023 年

- 2 月 10 日 ・審査委員会開催
研究助成 18 件
論文表彰 16 件
国際会議助成 3 件 選定
- 3 月 6 日 ・名古屋法務局へ登記 (監事死亡)
- 14 日 ・内閣府へ変更届

- 14日 ・第38回理事会（書面）開催
- 23日 ・第23回評議員会（書面）開催
- 27日 ・内閣府へ定期提出書類（事業計画・収支予算）提出

2. 前年度（2021 事業年度）研究助成の成果報告

前年度研究助成対象先 20 件のうちの下記 20 件について研究成果の報告を受け、冊子にまとめました。

オレゴン州立大学	Burak Sencer	動作指令の最適化による超高速レーザー加工機の生産性向上
韓国生産技術研究院	南 秀鉉	‘主軸回転速度変動法’を用いた切削加工におけるシステムの動特性とびびり振動の成長メカニズムの関係解明
金沢大学	小谷野 智広	ワイヤ放電加工におけるワイヤ電極温度と放電点の同時計測によるワイヤ断線現象の解明
福井大学	岡田 将人	切削－バニシング複合作用を有する cBN ボールエンドミルによる金型の磨きレス化
熊本大学	久保田 章亀	粗粒ダイヤモンド/cBN 砥石の精密ツリーイング法の開発と研削加工への応用展開
名城大学	成田 浩久	安定限界線図のローブ内の位置を推定したびびり振動を回避するための乱択アルゴリズム
埼玉大学	金子 順一	金属積層加工における造形物熱履歴状態を考慮した多軸制御積層工程の計画技術の開発
茨城大学	金子 和暉	ボクセルモデルを用いたエンドミル加工における被削材の変形解析の高速化に関する研究
名古屋工業大学	前田 佳弘	学習型プラント周波数応答関数推定によるサーボ制御の高効率自動調整
豊橋技術科学大学	内山 直樹	高次の幾何学的拘束条件を満たす産業機械の最適動作軌道生成
富山高等専門学校	山本 久嗣	新型 MCF ホイールを用いた平面研削研磨法の開発

芝浦工業大学	澤 武一	超砥粒ホイールのツルーイング・ドレッシング特性に関する 研究-普通砥石の機械的性質と超砥粒ホール 砥粒層の機械的性質の関係-
東京都市大学	小玉 脩平	切削援用短パルスレーザによるマイクロ・ナノ複合 構造の創成と制御
佐賀大学	長谷川 裕之	周期的アーク放電を用いる低摩擦・高耐熱性テ トラヘドラル DLC の合成
千葉大学	比田井 洋史	トライボプラズマによるダイヤモンドの摩耗作用
三条市立大学	田辺 郁男	最適切削加工条件のために NC プログラムを AI 添削するソフトウェアの開発
広島大学	村松 久圭	ロボットの繰り返し作業を高精度化する高次周 期外乱オブサーバ
工学院大学	武沢 英樹	熱処理材リングパンチ形状 WEDM の形状ひず み要因の解明とその抑制
大阪大学	佐野 智一	難塑性加工材の疲労寿命延伸を実現するドライ レーザピーニング技術の開発
同志社大学	廣垣 俊樹	ワイヤレス無線ホルダーを用いた曲げねじり高周 波びびり振動のモニタと現象解明

3. 2022 事業年度助成金公募および助成金交付先

定款第 4 条（1）に従い、高度生産システムに係わる、工作機械の機械要素技術や制御技術、工作機械による加工技術、被削材や工具などの材料技術、ロボットや搬送装置など周辺装置とその制御に係わる技術、また生産システムを構築、運用するための生産技術や情報通信技術に取り組んでいる国内・海外の個人及び 大学、各種研究機関に対して援助・助成を実施しています。

2022 事業年度は、研究助成応募 35 件、国際会議助成応募 7 件であり、いずれも 2023 年 2 月 10 日の審査委員会にて選考を行い、3 月 14 日の理事会にて承認を得て、研究助成 18 件、国際会議助成 3 件を決定しました。

※ 助成・表彰実績にて研究助成先・国際会議助成先リスト掲載しております。

4. 2022 事業年度論文公募と優秀論文表彰

定款第 4 条（2）に従い、若手研究者を対象とした論文募集を行い、優秀論文を顕彰しています。

2022 事業年度は、応募件数は 27 件で、2023 年 2 月 10 日の審査委員会にて選考を行い、3 月 14 日の理事会にて承認を得て、1 件の優秀論文特別賞を含む 16 件の優秀論文賞を選定しました。

※ 助成・表彰実績にて優秀論文の表彰リスト掲載しております。